

実証事業実施者:メタウォーター(株)・(株)新日本コンサルタント・古野電気(株)・江守商事(株)・
(株)日水コン・神戸大学・福井市・富山市 共同研究体
実証フィールド:福井県福井市(全排水区面積:1,821ha)・富山県 富山市(全排水区面積:5,619ha)

実証背景

- 局所的集中豪雨および都市化による都市浸水被害の頻発
- 降雨観測・浸水予測の高精度化によるソフト対策を含めた新たな対応が必要

目的

- 既存雨水対策施設の能力を最大化し住民自助・共助の促進による地域防災力の向上を実現

実証の概要

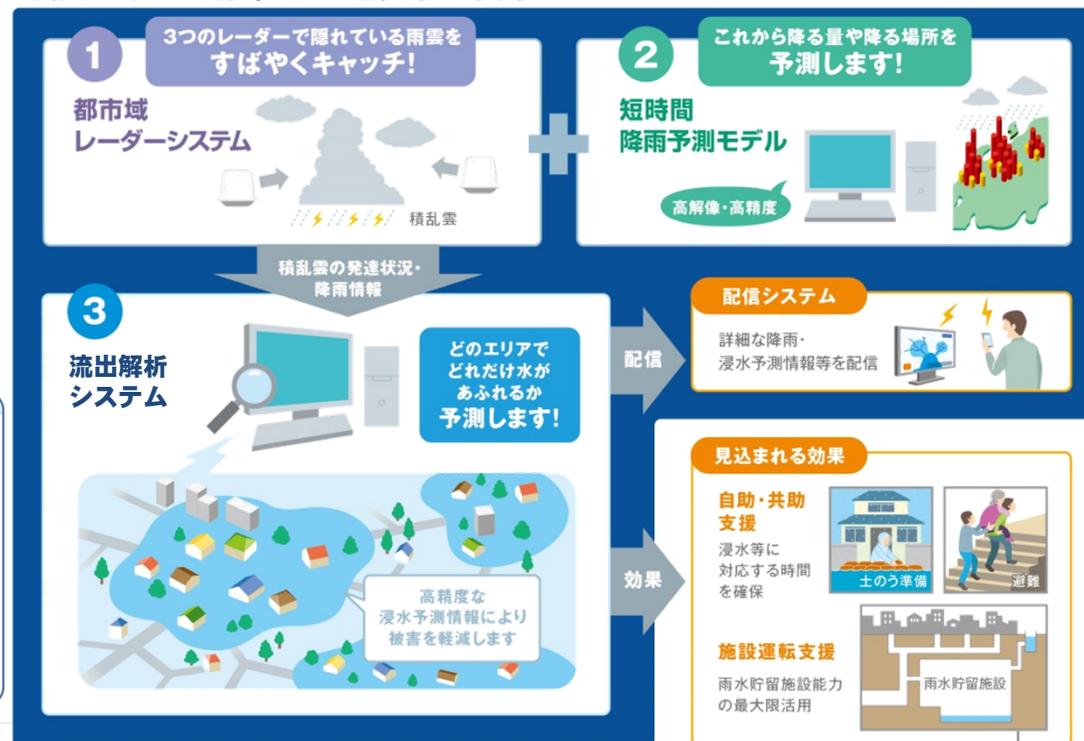
- 都市域(小型)レーダー、短時間降雨予測モデル、流出解析システムを組み合わせた情報配信システムの構築
- 本システムによる自助促進効果の検証(福井市・富山市)、既存貯留管能力の最大活用の検証(福井市)
- 本システムの即時性、安定性、コスト、浸水低減効果などを実証・評価

- 福井県福井市
- 排水区面積:1,821ha
- 自助支援:橋南、加茂河原・小山谷排水区 238ha
- 施設運転支援:狐川右岸第6、下北野排水区 284ha

- 富山県富山市
- 排水区面積:5,619ha
- 自助支援:呉羽排水区 200ha



実証フィールド



実証のイメージ